

# 川から郷土の自然を学ぶ子ども達 イトウが生息するマチの取り組み

6月27日に、今年はじめの授業が、幾寅小学校4年生を対象に総合学習の時間を活用し、空知川の源流となる落合の上流で行われました。

児童の皆さんは、河川に生息している虫や魚などをたも網を用いながら採取し、手に取り観察したりしながら、名称や生息する生活環境などを学んでいました。

また、森の樹木などにより源流の水質が保たれている仕組みなどについても理解を深め、自然を大切にする心を醸成されたようです。

授業は、本年度継続的に各学校の身近な環境資源を活用しながら進められます。



絶滅危惧種である「イトウ」を守るために本町では「町イトウ保護条例」を制定し、産卵期や越冬期における個体の保護などを図っています。

イトウは、サケ科の希少淡水魚で、その生息状況は、ここ十数年で若干の増加傾向にあり、本町の優れた自然環境を証明しています。イトウの保護は、単に個体を守るだけでなく、生息できる環境の保全も重要なことです。

本町では、「ソラブチ・イトウの会（小松忠雄会長）」が中心となり

保護に向けた活動がされていますが、町としてもこれまで以上に生息環境の保全や生息実態の調査に向け、本町で自主的にイトウの研究や保護に取り組まれていた大光明宏武氏を平成23年度から非常勤職員として採用し、業務を行っています。

その業務の一環として、町内各学校と連携し、児童・生徒に「郷土の優れた自然環境」の理解を深めてもらおうと、野外での環境教育の授業が行われています。



## 北海道消防協会上川地方支部 第41回富良野地区分会消防総合訓練大会

模擬火災訓練（はしご車による消火訓練）



北海道消防協会上川地方支部富良野地区分会の主催による第41回富良野地区分会消防総合訓練大会が7月3日、幾寅小学校グラウンドを会場に開催されました。

この総合訓練大会は、富良野沿線の消防関係者が一堂に会し、消防機械器具の取扱いの習熟と広く消防技術を公開し、消防職員と消防団員の士気高揚を図り、管内消防機関の相互応援体制の強化を示し、災害に対処することを目的として、毎年沿線各市町村の持ち回りにより開催されています。

大会には、富良野沿線の消防団員と消防職員、陸上自衛隊上富良野駐屯地の隊員など併せて340名と車両15台が参加しました。

開会式の後、5市町村の消防団員による小隊訓練と消防操法応用訓練が行われ、出場した団員の皆さんは指揮者の号令に従い機敏な行動をとっていました。

模擬火災訓練では、保健福祉センターみなくるから出火し、屋上に逃げ場を失った2名が取り残されていることを想定して行われ、第2出動、第3出動の要請により富良野沿線の消防団が出動し、消火活動と要救助者の救助が行われました。救助や消火活動には屈折はしご車が出動し、屋上の逃げ遅れた避難者を救出したほか、各消防団による放水など、日頃の訓練成果と迅速な機動力を展開し、多くの来賓や見学していた町民の皆さんは、固唾をのんで見守っていました。

また、陸上自衛隊上富良野駐屯地第4特科群第131特科大隊による救助訓練では、集中豪雨により河川の氾濫と土砂崩れが発生し、幾寅地区が孤立したことを想定して行われ、巡視中に土砂崩れに巻き込まれた負傷者を発見し、ヘリコプターの出動要請の後に、隊



東日本大震災展示パネルコーナー

員による探索機やエンジンカッターを駆使した素早い救助が披露されました。このほか、会場内に同駐屯地自衛官の東日本大震災における派遣活動の様子を紹介する展示パネルコーナーが設けられ、見学に訪れた皆さんは、災害の状況や救援活動の様子を食い入るように見学していました。



自衛隊による災害救助訓練

訪問しました。

6月28日早朝に本町を出発した交流団一行は、飛行機を乗り継ぎ、午後6時に本部町に到着。児童の皆さんは、熱烈的歓迎を受け、歓迎夕食会に出席し、体験の旅での抱負を述べ、よさこいソーランを元気に披露しました。また、今

### 平成23年度 本部町・南富良野町親善交流事業 南の国の真夏に挑む体験の旅



「友好の町」沖縄県本部町との間で平成3年から行われている親善交流事業は今年で21回目を迎え、「南の国の真夏に挑む体験の旅」として、6月27日から7月1日までの4泊5日の日程で、南富良野町交流団（各小学校6年生児童17名・随行者4名）が本部町を

年1月に南富良野町を訪問した本部町の児童との再会も果たし、交流を深めました。

翌日には、パイン園の見学や上本部小学校児童との交流学習、琉球ガラス工芸やバナナポート体験を楽しみ、3日目には、児童の皆さんが一番楽しみにしていた

海洋博公園内の美ら海水族館の見学や海水浴、サレービチ漁（追い込み漁）の体験などを行いました。この日の夜には、ホームステイ先の家庭で、家族との交流を深めました。

4日目には本部町を離れ、ひめゆりの塔、平和祈念資料館や平和の礎などを見学。5日目には、真っ黒に日焼けした姿で全員元気に帰町しました。

7月11日の解団式では、児童一人ひとりから発表があり、美ら海水族館でジンベエザメの大きさに驚き、海水浴では色とりどりの魚と泳いだり見たこと、バナナポートに乗って楽しかったこと、ホームステイ先のご家族や町民の皆さんの優しさに感激し、また行きたいと感想を話していました。



献花を供える参列者の皆さん

### 南富良野町戦没者追悼式 — 〇三柱の英霊の冥福を祈る —

- 先の大戦から66年目を迎えて、戦没者〇三柱の霊を慰めるため、町社会福祉協議会主催による「戦没者追悼式」が7月7日、来賓や遺族の方々70名が参列する中、忠魂碑前でおそかに執り行われました。
- 午前10時、サイレン吹鳴とともに参列者全員で黙祷を捧げたあと、東雅雪会長が「あの悲しい歴史を二度と繰り返すことがないようわが国の恒久平和と南富良野の発展を誓います」と式
- 〇北海道 様
  - 〇南富良野町 様
  - 〇南富良野町議会 様
  - 〇南富良野町 遺族会 様
  - 〇上川地区連合 遺族会 様
  - 〇社会福祉法人 南富良野大乗会 様
  - 〇からの農業協同組合 様
  - 〇JAからの 南富良野支所女性部 様
  - 〇けん三のこたば館 クリニック 様
  - 〇南富良野町 欽業振興会 様
  - 〇南富良野町 高齢者事業団 様
  - 〇町立歯科診療所 様
  - 〇新田 徳則 様
  - 〇新田 俊布 様